

2023年12月22日

## 「ヤクルトサステナビリティキャンペーン」を実施

株式会社ヤクルト本社（社長 成田 裕）は、グループ全社統一キャンペーンである「ヤクルトサステナビリティキャンペーン」を、2023年9月にグループ全従事者を対象に実施しました。

本キャンペーンでは、“グループみんなのサステナビリティ行動宣言”<sup>※1</sup>である「人と地球のために、今行動しよう！」をキャンペーンタイトルとして、森林保全をテーマに実施しました。

ヤクルトグループ内の各拠点単位で森林保全に関連する具体的な取り組み目標である“森林保全宣言”<sup>※2</sup>を募集したところ、合計162拠点が参加し、達成者<sup>※3</sup>の合計は39,359名でした。取り組み結果は金額換算（達成者1名につき100円）し、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（WWF ジャパン）<sup>※4</sup>に3,935,900円を寄付しました。この寄付金は、当団体における森林保全活動に活用されます。

また、本キャンペーンの一環として、公益財団法人オイスカ<sup>※5</sup>「子供の森」計画<sup>※6</sup>に10万円を寄付しました。この寄付金は、インドネシア、フィリピンなどの活動に活用されます。

さらに、「環境アクション（2021-2024）」<sup>※7</sup>の取り組みの一環として、国内の工場などで植樹を実施しました。

当社では、今後もグループ全従事者のサステナビリティ意識の向上を図り、取り組みをさらに推進していきます。

なお、本キャンペーンの概要は下記のとおりです。

※1 ヤクルトグループ内においてサステナビリティを推進していくために、2022年度のサステナビリティキャンペーンにおいて策定した行動宣言です。

※2 当社で設定した森林保全に貢献できる以下3つのテーマから1つ選択し、関連する具体的な取り組みを宣言しました。

テーマ1：資源の削減と有効活用（サーキュラーエコノミー）

テーマ2：エコマーク（環境配慮型）商品の購入

テーマ3：森林の大切さについて学ぶ

※3 “森林保全宣言”をキャンペーン期間内に実行した従事者を「達成者」としました。

- ※4 公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（WWFジャパン）は、世界100か国以上で活動している環境保全団体であるWWFの日本事務局です。WWFは、人と自然が調和して生きられる未来を目指して、失われつつある生物多様性の豊かさの回復や、地球温暖化防止などの活動を行っています。
- ※5 アジア・太平洋を中心とした地域で、農村開発、人材育成、環境保全を推進している国際NGOです。
- ※6 子どもたち自身が、学校の敷地や隣接地に苗木を植え、育てていく活動を通じて「自然を愛する心」、「緑を大切にす気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていこうというプログラムです。
- ※7 人と地球の共生社会の実現を目指すヤクルトグループの環境ビジョンとして、2021年3月に「環境ビジョン2050」を定めました。また、その中期的マイルストーン「環境目標2030」、短期的マイルストーン「環境アクション（2021－2024）」も策定し、実効性のある取り組みを推進しています。

## 記

1. 名 称：ヤクルトサステナビリティキャンペーン
2. 期 間：2023年9月1日～9月29日
3. 対 象：ヤクルトグループ全従事者
4. 実施結果
  - (1) 「人と地球のために、今行動しよう！」  
～グループ拠点単位で“森林保全”に取り組もう～
    - ①参加拠点数：162拠点
    - ②達成者数：39,359名
    - ③寄 付 先：公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（WWFジャパン）
    - ④寄 付 金 額：3,935,900円
  - (2) 公益財団法人オイスカの「子供の森」計画への支援金として、10万円を寄付
  - (3) 「環境アクション（2021－2024）」の取り組みの一環として、国内ヤクルトグループの14の工場などで植樹を実施

【サステナビリティキャンペーン報告ポスター】



以上